

『ロシア・ユーラシアの社会』投稿規程

1. 投稿論文等は、随時受けつけています。
査読を行なったうえで、編集委員会において採否および掲載号を決定します。
2. 原則として日本語で、A4判で横書き（40字×33行）とし、ページ番号をふってください。
分量は、論文は20000字、研究ノートは10000字、書評は6000字を上限とします。
3. 原稿はWord等を用いて作成し、『ロシア・ユーラシアの社会』編集委員会(yuken@t3.rim.or.jp)に電子メールで送ってください。
4. 原稿の形式その他については、『ロシア・ユーラシアの社会』執筆要領に従ってください。
5. 原稿を提出する前に、捏造・改ざん・盗用を行っていないかどうか、学界の慣行に従って適切な方法で引用文献・出典が明記されているかどうか、確認してください。
盗用は「他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を当該研究者の了解又は適切な表示なく流用すること」（「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（文部科学大臣決定、2014年）と定義されており、アイデアの盗用も含まれることに留意してください。

『ロシア・ユーラシアの社会』執筆要領

1. 原稿について

1) 原稿の書式

原則として日本語で、A4判で横書き（40字×33行）とし、ページ番号をふってください。
原稿は、Word等を用いて作成してください。

2) 原稿の分量

原則として、論文は20000字、研究ノートは10000字、書評は6000字を上限とします。
図表は相当字数に換算し、上記の分量に含めます。

3) 氏名と所属

最初に表題、次の行に氏名を書いてください。

文末に、氏名をひらがなで、()内に所属（大学の場合は学部・研究科等）および必要に応じて職名を記載してください。

4) 英文の表題等

英文の表題、氏名（大文字の姓、名の順）、所属を記載してください。

5) 要旨

論文および研究ノートには、400字程度の要旨を記載してください。

6) 原稿の構成について

本文は必要に応じて章、節などに分け、次のように番号をふってください。

1.

1)

(1)

「はじめに」「おわりに」がある場合は、番号外とします。

7) 注

本文中に1、2、3...の通し番号を付け、ページごとの脚注とします（印刷されるときは(1)、(2)、(3)...となります）。

8) 参考文献

参考文献は、それぞれの学界の慣行に従い、次のいずれかの方法で示してください。

A. 脚注で文献名と頁数を示す。

上垣 彰「トランプ現象とロシア経済」『ロシア・東欧研究』第46号、2017年、
16～24頁。

B. 文末に参考文献リストを付け、次の方法で本文中（または脚注）に文献名と頁数を示す。

塩川伸明 2021 『国家の解体—ベレストロイカとソ連の最期 I』東京大学出版会
→ 塩川 (2021) 150頁。

2. 研究倫理について

1) 原稿を提出する前に、捏造・改ざん・盗用を行っていないかどうか、学界の慣行に従って適切な方法で引用文献・出典が明記されているかどうか、確認してください。

盗用は「他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を当該研究者の了解又は適切な表示なく流用すること」（「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」文部科学大臣決定、2014年）と定義されており、アイデアの盗用も含まれることに留意してください。

2) 必要に応じて、文末に、謝辞、助成を受けた研究費などについて記載してください。

3. 査読について

当面、すべての論文・研究ノートについて査読を行なうことはしません。

投稿論文については、編集委員会の責任において複数の査読者による査読を行ない、採否を決定します。

その他、査読を希望する場合は、その旨を申し出てください。採用された場合は、査読済であることを論文・研究ノートに明記します。

4. 校正について

1) 入稿する前に、形式を整えるという目的に限り、編集委員会で原稿に手を加えることがあります。

2) 著者による校正は、初校と再校のみとします。大幅な加筆・修正は控えてください。

5. 著作権などについて

1) 本誌に掲載された論文等の著作権および電子化の権利はユーラシア研究所に帰属します。

2) 本誌は、刊行後、一定期間のうちに「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE)で公開される可能性があります。